

第1学年2組 学級活動(3) 学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 題材「なりたい自分について考えよう～教えて人生の先輩プロジェクト～」

2 学習の構想

【このような生徒だから】

中学校生活も半年が過ぎ、学校生活や部活動との両立に慣れてきた様子が見えてくる。また、本校では主に2つの小学校から入学してきている生徒が多いせいも、学級では同じ小学校出身の仲のよい生徒同士でかたまり、他者との交流が固定化しているため新たな自分の発見等がしにくい状態である。

4月に実施したキャリア・パスポートNo.1(なりたい自分・将来の夢)に取り組んだところ、「礼儀正しい人になりたい」「優しく思いやりのある人になりたい」など、どのような大人になりたいかを記述している生徒が94%、「医者」など将来の職業を記述している生徒が6%であった。

そこで、今回の学習では、実際に現在働いている職業人をゲストティーチャーとして招き、自分の長所をどのように職業や生き方に活かしているのかについて話をさせていただく。その話を聞くことで、自分の長所をどのようになりたい自分や職業につなげていくのか、自分の長所がどのような将来につながるのかを考えるよい機会になると考えた。

【このような内容を】

本単元は、学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」に示された指導事項のうち、主体的な進路の選択と将来設計に関する内容である。

生き方や進路に関する情報を収集して活用するとともに、キャリア・パスポート等を通して、自分自身の興味・関心などの個性を理解した上で、自分の将来の生き方や生活について見通しをもち、進路選択を行うようにするためのものである。

自分自身の興味・関心などの個性を理解し、それを活かすためにも、人生の先輩から実際にアドバイスをもらえる本学習内容は、大変意義深いと考える。

【このような指導で】

一次では、なりたい自分を深く考えられるように、自分や友達のいいところを見つける活動を設定する。

二次では、前時で深めた自分のよさを、どのような職業に活かされるかを考えさせるために、適正チェックを行う。

三次では、ゲストティーチャーに対する質問を考えさせるために、前時や前々次の振り返りを行う。また、ゲストティーチャーの話を主体的に聞くため(観点を持って聞かせるため)に、学級で質問内容を考えさせる。

四次では、自分のよいところをどのように将来につなげるか、自分の良いところがどのように将来に役立っていくのかを考えさせるために、ゲストティーチャーに話をしてもらう。

【このような視点を意識して】

◎自分のよさを理解し、個性を發揮しながらものごとに取り組もうとする < B 自己理解・自己管理能力 >

【このような生徒に】

< 題材の目標 >

知識及び技能	学校や家庭で自分の役割、自分らしい生き方について考える意義や、現在の学習と将来の社会・職業生活のつながりを考えるために、必要な知識及び技能が身に付いている。
思考力、判断力、表現力等	現在の自己の学習の課題を見いだし、主体的に学習に取り組み、自己の将来について、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像をおおまかに描くことができる。
学びに向かう力、人間性等	将来の生き方をおおまかに描き、現在の生活や学習のあり方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識しようとしている。

3 題材計画（全時間）

A…人間関係形成・社会形成能力 B…自己理解・自己管理能力 C…課題対応能力 D…キャリアプランニング能力

次	時	主な学習活動	指導上の留意点（○），評価規準と方法（◇）	視点
一	1	自分や友達のよいところを見つける。	○ 「なりたい自分」を深く考えられるようにするために、自分や友達のよいところを見つける活動を設定する。 ◇ 自分や他者の長所を記述している。 【思考・判断・表現】《ワークシート》	A B
二	1	自分の長所を生かせる職業を探す。	○ 前時で見つけた自分の長所が、将来にどのように活かせるかを考えさせるために、適性チェックを行わせ、自分に適性する職業について考える活動を設定する。 ◇ 適性チェックシートに記述している。 【知識・技能】《ワークシート》	B D
三	1	ゲストティーチャーに対する質問を考える。	○ ゲストティーチャーに対する質問を考えさせるために、前時や前々時の振り返りを行わせる。 ○ ゲストティーチャーの話の主體的に聞くため（観点を持って聞かせるため）に、学級で質問内容を考えさせる。 ◇ 質問を記述し、学級としてどの質問を挙げるか選択することができる。 【主體的に学習に取り組む態度】《ワークシート》	A C
四	1 （本時）	自分のよいところが仕事や社会、将来に、どのように役立つのか考える。	○ 自分のよいところを、どのように将来につなげるかを考えさせるために、自分のよいところがどのように役立つのかをゲストティーチャーに話してもらう。 ◇ 自分の考えをワークシートに記述している。 【思考・判断・表現】《ワークシート》	B

4 本時 令和3年11月18日（木） 13:50～14:40 於：1年2組教室

（1）本時のねらい

ゲストティーチャーの話（自分の個性や興味・関心と仕事や職業との関係）を聞く活動を通して、自分のよいところが仕事や社会、将来にどのように役立つのかについて考えることができるようにする。

（2）本時で意識するキャリア教育の視点

意識する能力	意識する視点の具体
A 自己理解・自己管理能力	○ 自分のよいところが仕事や社会、将来にどのように役立つのかについて考えることができる。

（3）準備 キャリア・パスポート，ワークシート

(4) 展開

過程	学習活動・内容	指導上の留意点 (○) と評価規準 (◇) 意識するキャリア教育の視点 (<>) と手だて (◎)
<p>導入</p> <p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 (1) 前時までの流れを振り返る。 (2) 本時のめあてを確認する。</p> <p>展開</p> <p>(3) ゲストティーチャーの紹介を学校運営協議会役員の方から聞く。</p> <p>2 ゲストティーチャーの話聞く。 (1) Aさんの話を聞く。 (2) Bさんの話を聞く。</p> <p>3 講師の方へ質問をする。</p>	<p>自分のよいところが仕事や社会、将来に、どのように役立つのか考えてみよう</p> <p>(3) ゲストティーチャーの紹介を学校運営協議会役員の方から聞く。</p> <p>2 ゲストティーチャーの話聞く。 (1) Aさんの話を聞く。 (2) Bさんの話を聞く。</p> <p>3 講師の方へ質問をする。</p>	<p>○ 前時の学習を振り返らせるために、キャリア・パスポートを確認させる。 ○ 前時までの学習を、本時のめあてにつなげさせるために、前時までの授業内容を想起させる。</p> <p>○ 他者を理解する態度を整えるために、学校運営協議会委員の方からゲストティーチャーの紹介をしてもらう。 ○ 今回のめあてに沿った話をしてもらうために、事前にゲストティーチャーに話していただく内容(長所をどのように活かしているのか、長所を活かすことでどのようなよいことがあるかなど)を確認しておく。 ○ 地域とのつながりを大切にするために、学校運営協議会委員の方に司会を務めてもらう。 ○ 後で、質問や振り返りをさせるために、ワークシートにメモをとらせる。 ○ 質問を出しやすいように、前時のキャリア・パスポートやワークシートのメモを確認させる。</p>
<p>終末</p> <p>4 自分の考えをワークシートに記述し、全体で共有する。 (1) 自分の考えをワークシートに記述する。</p> <p>5 本時の学習を振り返り、ワークシートに感想を書く。 (1) ワークシートに記入する。</p>	<p>自分の考えをワークシートに記述し、全体で共有する。 (1) 自分の考えをワークシートに記述する。</p> <p>自分の考えをワークシートに記述する。 △△な面で活かしていけそうだ。 私の長所である○○な部分は、社会に出て役立つとわかった。</p> <p>人付き合いが大事だとわかったので、私の長所である○○な部分を人付き合いに活用していきたい。 僕の○○な性格は短所だと思っていただけ、長所にとらえて将来に活かして活きたい。</p> <p>(2) 全体で共有する。 (3) お礼を述べる。</p>	<p>◎ 自分の考えをワークシートに記述させるために、めあて(自分のよいところがどのように役立つのか)を確認させる。 < B 自己理解・自己管理能力 ></p> <p>発問 ゲストティーチャーの話聞いて、自分のよいところが仕事や社会、将来に、どのように役立つと思いますか。 ◇自分の考えをワークシートに記述することができる。【思考・判断・表現】《ワークシート》</p> <p>○ 授業の振り返りをさせるために、めあてやワークシートに記述した内容を確認させる。 ○ 本時の学習内容を自分の生活とつなげさせるために、「自分のいいところが、今からの生活にどのように活かしていけそうか、考えてみよう。」と投げかける。 ○ 個人の考えを全体で共有するために、数人に発表させる。</p>